

2015年6月26日（金）に『税・財政ゼミナール』が開講しました。

第1回は20名程の方に参加をして頂きました。チューター荒川（税制経営研究所副所長）により『増税の論理』（谷山治雄著）を教材にしたレジュメの発表後、参加者全員で活発な意見交換が行われました。発表はゼミナール開講の主旨に始まり、『増税の論理』執筆時（1994年）と現代の財政比較、イデオロギーとは何か、消費税増税批判と要領よくまとまった内容でした。しかし、オブザーバー講師である安藤實先生（静岡大学名誉教授）からは欲張りすぎ（初学者に分かりやすくすべき）との厳しいご意見もあり、次回からのチューターの発表はより焦点を絞ることになりました。

次回のテーマは次の2点です。

- ①『増税の論理』（4「直間比率是正論」批判のポイント、5「高齢化社会論」批判のポイント、6「クロヨン論」の分析）
- ②税制研究 NO.54（巻頭言：シャウプ勧告特集号によせて、総論：シャウプ勧告に先行する税制改革について）

第2回からの参加も、第2回だけの参加も歓迎です。参加者の多くは税法学・財政学に関して初学者ですので、税や財政に関して少しでも興味のある方、税や財政について知りたいと思われている方のご参加をお待ちしております。

## 第2回『税・財政ゼミナール』詳細

日時：2015年9月25日（金） 15：00～17：00

会場：東京都新宿区三栄町9番地 税研ビル2階

応募：事前に電話にて参加の旨をお伝えください

TEL 03-3359-4731 （担当者：矢部、山本）

※第3回の詳細は9月25日に決定します。決定後、ホームページやパンフレットにてお知らせいたします。